

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21016
課題名	血液心筋保護法と晶質液心筋保護法の比較検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2026年3月31日
研究の対象	2014年4月～2026年3月までに当院で低侵襲心臓手術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：既存資料・情報：年齢、性別、体表面積、DM、DLp、HT、EF、Japan score、心筋梗塞の既往、脳梗塞の既往、術前最終クレアチニン、HGB、体外循環時間、大動脈遮断時間、fHb、COP、挿管時間、ICU滞在時間、入院日数、TPM時間、脳梗塞合併症、HGB、eGFR、K、IN/OUT、RBC量、FFP量、AKI、CK、CK-MB）</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ）</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究の意義、目的	<p>心臓の手術を行う際には、心臓が動いたまま細かな手術をするのは困難なため、一時的に心臓を止め、人工心肺装置と呼ばれる装置により、心臓と肺の代行を行い、手術を行います。心臓を長時間止める際に心臓の筋肉に障害が起きないように心筋保護液と呼ばれる特殊な液体を心臓へ送り、心臓を保護します。</p> <p>当院では2種類の心筋保護法を使用しており、本研究はそれら2種類の心筋保護法の評価を行うことを目的とした研究です。</p>
研究の方法	手術記録、手術前後の血液検査記録等からデータを抽出し、使用した心筋保護法ごとに分け、比較検討を行います。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学病院 手術部 本間 祐平 TEL:0166-69-3538</p> <p>研究責任者： 手術部 本間 祐平</p>